



「お祭りをすがすがしい気持ちで！」
であいの会 代表 安達征治

毎年、長崎くんち直前に中島川周辺の清掃活動を実施！ その名も「くんちでクリーン」

2008年10月5日、日曜日。あいにくの雨模様にもかかわらず、長崎市の中島川にはカッパ姿で空き缶やゴミを拾う人々がたくさん集まりました。これは、長崎の中心部を流れる中島川周辺で地域活動を続けている地域活性化グループ「であいの会」(安達征治会長)が中心になって行っている清掃活動「くんちでクリーン」。毎年、諏訪神社の『長崎くんち』や若宮稲荷神社の『若宮くんち』の開催を間近に控えた日曜日に行われているもので、「地元や観光客の皆さんに気持ちよく祭りを迎えてい



ただきたい」という思いから始まったものです。諏訪神社や若宮稲荷神社の玄関口にあたる伊良林一丁目から西浜町・中島川周辺、新大工町までのエリアを、「であいの会」を構成する中島川流域の自治会青年部、中通り商店街青年会のメンバーのほか、地元連合自治会、長崎く



んち塾、長崎ネットワーク市民の会、県友会(県庁のOB)、ライオンズクラブ、そして近くの小学校、高校の児童生徒ら計約400名以上が参加しています。

「県内に河川の愛護団体は多くありますが、これだけ大規模にやっているのは少ないでしょう。自分たちのまちをきれいにしようと、子どもから大人まで集まって空き缶や木切れなどを拾っています。特に今日は雨で、

参加者は少ないと思っていたのですが、これだけたくさんの方が集まってくれてうれしいですね。街をきれいにして、すがすがしい気持ちでくんちを迎えたいという思いが、みなさんの心にあるのでしょうか。くんちでたくさんの方が中島川周辺を訪れますが、きれいにしているとゴミ

も捨てにくい。そんな環境をつくってあげればいいですね」と、「であいの会」の安達会長。

「であいの会」は、平成18年度には(社)日本河川協会から河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった団体として「河川功労者」として表彰された実績もあります。安達会長は「川をきれいにすることで、環境問題やふるさとの自然にも関心をもつきっかけにもなる。これからも子どもと大人と一緒に活動を続けていきたい」と今後の抱負を語ってくれました。

